

# 小池市長 財源はあります 学校給食無償化3億円 体育館空調6000万円 带状疱疹ワクチン補助を

## 新規事業なし9月議会

4月の市長選挙で誕生した小池市政。本来、9月補正予算などで自らの公約実施するのが恒例です。しかし、6月議会に、18歳までの通院費無料化を10月から実施ことにして以来、新規事業なしです。

## ふるさと寄附収入13億円

令和5年度決算では、ふるさと応援寄附は27億円。半分返礼品として13億円が使えます。学校給食無償化は年額3億円。安城市、豊田市、みよし市に次いで実施することは可能です。

国も6月に、無償化のための全国調査を終え、無償化への責任を果たさなければなりません。

日本共産党は愛知県に対して、無償化の費用負担を求める署名を広げています。小池市長は公約実施を先送りしてはなりません。

## 高校体育館の空調

### 1カ所6千万円

愛知県は、今年度予算で45億円を計上して、県立高校145校のうち36校、74棟に空調を整備。2027年度まで

市の主な収入		
税目	令和5年度決算	
個人市民税	50億2836万767円	収入
法人市民税	16億9695万5645円	
固定資産税	91億7976万8641円	
軽自動車税	2億3114万2372円	
都市計画税	11億7854万3626円	
市たばこ税	5億1993万7782円	
合計	178億3470万8827円	
ふるさと応援寄附金	27億3321万5009円	(うち半額は返納品。13億円は収入)

4年間で完了予定です。1カ所6千万円で試算すれば、小学校7校、中学校5校は7億2千万円。ふるさと寄附金1年分で実施できます。

## 財調は60億円

決算では基金(貯金)は総額約85億円。介護など目的を決めているものがありますが、自由に使える財政調整基金だけでも約60億円あります。他市に遅れを取り、子どもの出生率西三河最低の碧南市だからこそ、学校給食無償化や体育館空調設置が急がれます。

## 带状疱疹ワクチン定期接種へ

厚生労働省は、6月20日の報道で、来年度から带状疱疹ワクチンの定期接種化(予防接種法)と呼ばれる予防接種の規則を決めた法律に書かれているワクチンで公的補助あり)を検討しています。碧南市は国まちでなく、50歳から2回で4万6千円の半額補助を実施すべきです。

## 法人税制限税率で約6億円増入

さらに法人市民税率は最低の6%の碧南市。全国の同規模自治体では8.4%の制限税率にしています。碧南市が8.4%すれば、令和5年度決算で約6億円、令和6年度予算では約10億円の増収になります。

## 過去最高利益の大企業に公正な税を

大企業に物言えぬ、歴代市政。大企業優遇の国県政とともに、トヨタ、JERA、中電など

碧南市の基金状況	(千円)
2023年度決算	
財政調整基金	5,970,688
減殺基金	6,782
公共施設維持基金	1,149,162
介護給付準備基金	406,237
緑化推進基金	313,577
国際交流基金	167,073
農業推進基金	110,833
福祉基金	108,979
スポーツ振興基金	100,043
文化振興基金	52,227
交通安全基金	38,042
墓園管理基金	36,333
まなびさばーと基金	4,708
健康都市推進基金	3,269
国民健康保険事業基金	1
合計	8,467,954

## 県下10位の財政力碧南市(ふるさと応援寄附約30億円は入っ)

	2024年予算
1	飛島村 2.57
2	豊田市 1.52
3	みよし市 1.44
4	刈谷市 1.32
5	大口町 1.33
6	東海市 1.32
7	安城市 1.3
8	小牧市 1.23
9	武豊町 1.21
#	碧南市 1.18

## 財政力は県下10位

2024年予算では碧南市の財政力は1.18です。「I」を超えると、自主財源でやっていけると「不交付団体」となります。愛知県下では10位の財政力になっています。市民向けの、施策は10位の水準にはなっていない。

## 市民に増税を」小池市長の珍答弁

西端の高齢者学級に来た小池市長。農業者コミュニティセンターに空調を」という参加者の声に「お金がないから、増税しなければならなくなる」と答えました。市民は、市民税、固定都市計画税など決められた税金を収めています。施策に対しての負担強化はありません。

豊かな財源をもちながら、市民要求に答えられない理由に「増税」などは、ゴマカシとすぐばれるウソです。こんなことを平気で言うのなら、歴代市長と変わりません。



# 自民党総裁選 政治の行き詰まり打開できず

## 国民そっちのけの悪あがき

自民党の総裁選に候補者が次々と名乗りを上げています。総裁選は、次の解散・総選挙に向けたまさに「自民党の顔選び」の様相です。しかし、いくら「刷新感」を演出しようとしても、内輪の争いでは、深刻な自民党政治の行き詰まりを打開できません。

## 見えない路線論争

いま問われているのは、岸田文雄首相の政権投げ出しのきっかけとなった統一協会との癒着や裏金問題をはじめ、安全保障政策でも経済政策でも完全に行き詰まりを見せる自民党政治そのものです。ところが、総裁選では、安倍政権以降、12年にわたって続けられた自民党の政治路線に対する論争が全く見られません。

## 反省なしの裏金、軍拡政治

それもそのはず。自民党は、安倍政権が退陣に追い込まれて以降も、その政治路線を継承し、総裁選による表紙のすげ替えだけで選挙を乗り切るやり方を繰り返してきたからです。

## ボスもうでの全候補者

今回の総裁選に名乗りを上げる候補もみな、安倍・菅・岸田政権で閣僚や党の要職にいた人物ばかりです。どの候補も行き詰まった政治路線を転換するすべはなく、派閥の領袖（かようしゅう）を頼るなど支持者集めに躍起です。あるのは、国民の願いとはかけ離れた権力争い（けんりそう）政争です。

## 裏金解明に背向け、迷走

だから、どの候補も、国民の中に広がる政治不信に、まともに向き合おうとしません。とりわけ裏金問題は、個々の議員による政治資金収支報告書の訂正だけでは済まされない重大問題です。しかし、総裁選で各候補が訴えるのは、政治資金収支報告書への不記載額の「返納」や、

処分された裏金議員を次の選挙での「非公認」にするなどという小手先の対応ばかりです。しかも、裏金議員から反発の声があがると、発言がブレるなど迷走する場面が早くも生まれています。

## 裏金議員の処分を

裏金をめぐっては、選挙区内の有権者に違法な香典提供をした疑い（公職選挙法違反）のある堀井学衆院議員（8月28日に辞職）が政治資金規正法違反（虚偽記載）の疑いでも略式起訴されました。堀井氏は、裏金が香典の原資の一部となったと説明しているとも報じられています。

## 真相解明に責任果たせ

裏金が違法に使われているのではないかと。誰が、いつ、何の目的で、どのように裏金づくりを始めたかを含め真相を明らかにして、厳正な処分を行うべきです。小手先の対応で幕引きをはかろうとする動きを絶対に許すわけにはいきません。

## 企業団体献金の禁止を

裏金事件で明らかになった政治腐敗の温床に切り込むなら、真相解明、処分と合わせ、30年前の「政治改革」の際、焦点となった企業・団体献金の禁止にまで踏み込む議論が必要です。

## 自民党政治の転換を

いま、国民が求めているのは、総裁選での「刷新感」の演出ではなく、自民党政治そのものの転換です。

## 立憲主義破壊、軍拡、

## 大企業本位を正せ

安倍・菅・岸田と3代にわたって引き継がれてきた立憲主義破壊の軍拡路線、大企業本位の経済政策の破綻は、国民の安全と暮らしに重くのしかかり、先行きを暗くしています。

## 総選挙で退場の審判を

総裁選後、自民党が解散・総選挙に打つてであるというなら、今度は国民が自民党政治そのものに退場の審判を下す必要があります。



石井拓  
議員は  
裏金問題明らか  
にせよ

大軍拡・増税許すな

へきなん 19行動

9月19日（木曜日）午前11時～12時  
ピアゴ碧南東店  
碧南市東浦町6-17（日進小学校南）

総選挙で新しい政治に

衆議院比例東海予定候補

もとむら伸子 すやま初美



<http://hekinan.jcpweb.net/>  
日本共産党碧南市議員団のホームページをご覧ください。

日本共産党碧南市議団



市議会議員  
山口はるみ  
☎42-8940  
三度山町 2-70-4



市議会議員  
磯貝明彦  
☎48-2718  
若松町 3-253